

東京スター銀行

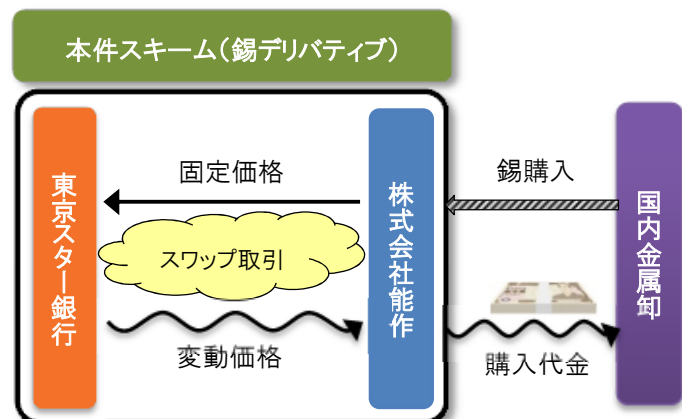
コモディティ価格変動リスク回避のためのヘッジソリューションとして、
国内では珍しい錫のデリバティブ商品の提供を開始

～ 第1弾は、大正時代創業の富山県高岡市の鋳物メーカーである株式会社能作向け ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治)は、このたび、大正時代創業の鋳物メーカーである株式会社能作(富山県高岡市、代表取締役社長 能作 克治、以下「能作社」)に対して、錫価格の変動リスク回避のためのヘッジソリューション(コモディティデリバティブ)をオーダーメイドで提供いたしました。

錫を用いた工芸品製造において全国的に知名度が高い能作社は、商品の殆どが錫製品であるため、原材料である錫の仕入れ価格の変動は経営の不安定化の要因になっていました。さらには、錫が持つ抗菌性という特性をいかして、今後、医療分野等新分野でのさらなる活用が見込まれることから、同社は錫価格の強い先高感を持っていました。

一方で錫は先物市場が国内に無く、一般的には錫仕入れ価格を安定化させるためのヘッジ手段が限られているため、同社から相談を受けた本行が、親会社である台湾のCTBC Bankを含めたデリバティブに関する広範なネットワーク・体制を活用して商品組成を成功させ、今回のソリューションの提供に至りました。



当行のデリバティブ商品開発・販売部門は、地域金融機関では機能、規模の双方でトップクラスの体制を有しています。現在はその強みを生かしてコモディティデリバティブ分野の強化や、複数の地域金融機関との間で業務提携も進めています。

当行は、今後も、金利・為替・コモディティデリバティブなどのヘッジソリューションを有効に活用して、他の地域金融機関との業務提携をさらに進めていくと同時に、さまざまな事業リスクを回避したい全国の事業法人のお客さまに対して、ニーズに合ったソリューションをご提供してまいります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

東京スター銀行 広報室 TEL:03-3586-3111 (平日 9:00-17:00)

(ご参考)

【能作社の商品例】

[籠]



[ぐい呑み]



【錫の市況】

